

グッドのグッドニュース

オヤジライダーが行く！

田 植えもすっかり終わり、またカエルの響きも勇ましく水田に活気が戻って参りました今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか、お元気ですか。とても過ごしやすい季節となって来ましたので何処かへ出かけるのも良い時期です。ただ6月は梅雨の季節でもあります。最近の異常気象により豪雨になる事がありますが、やはり適量でいてもらいたいものです。またジメジメし食中毒も発生しやすくなりますので、早めに冷蔵庫へ入れる、火を通すなど、皆さんくれぐれも注意していきましょう。

さて、先月の連休にツーリングに行けるかどうか心配していたオヤジライダーですが、行って参りました。不安だったタイヤも無事に装着でき、キャンプ用品も数点新調して出発いたしました。今回2泊3日の予定で群馬、栃木と抜けて福島県の山中を主に走る計画を立てました。以前も走った事のあるコースなので思い出しながらの走行となりました。荷物を積み、朝は8時前に出発、福島県に入った所でキャンプする予定です。まずは軽井沢から国道146号で草津方面へ行き、国道405号で野反湖へ行きました。ハイキングする方や、釣り客もいました。ここは写真とトイレだけで先に進みます。道を数キロ戻り、目的の林道入口に到着、万沢林道です。ここは直線1km区間があるので、スピードを出してしまいます。ここを走り抜けて四万温泉近くに出る予定だったのですが、まだ通行止めのため、引き返します。帰りも直線林道で飛ばしてしまいましたが、バイクが跳ねられるので結構怖かった。その後、県道55号日本ロマンチック街道で四万温泉方面へ行きました。次の林道は秋鹿大影林道です。ここは約13kmの石の多い荒れた林道です。何度も転びそうになりながら進みます。すれ違うライダーとは挨拶をし、それでも快調に走って来ました。その先にあった道の駅たくみの里で休憩です。バイクは何台か止まっていたのですが、オフローダーはオヤジだけでした。まあオフロード車は人気無いですからね。今回はバイクにスマホをセットしてナビで使ったのでとても楽です。

関越自動車道を一区間だけ使い沼田ICで降り、国道120号を日光方面へ向かいました。道中にある吹割の滝には観光客が沢山来ていましたが、オヤジは先を急ぎます。途中コンビニによりパンを食べていると、一人のオフローダーが話しかけてきました。どこそこの林道の話やバイクの話をしたのですが、「オヤジはいつもキャンプだよ！」という話をする、「ガチですね!？」と驚いていましたが、やっぱり山の中を一人で走っていると何が起こるか分からないですからテントは必要です。その後金精峠を越えて栃木県日光市に入りました。日光湯元、戦場ヶ原を横目に走り、そこから奥鬼怒林道(舗装道路)へ入り北上します。奥鬼怒温泉入口に来ると、脇に間欠泉があります。が、ここもスルーし、いよいよ本題の林道に来ました。川俣湖の脇から続く川俣桧枝岐林道です。この林道を走破して福島県の桧枝岐村(ひのえまた)でキャンプをし、次の日から本格的に走る予定です。この林道も距離があり走りがいのある道です。オヤジは調子よく飛ばして行きます。途中分岐を間違えて本来の道より先に行ってしまったが、そこで会ったライダーに道を教えてもらい、戻って分岐まで来ました。ここから県境の峠まで約24km、その先まで合わせて35kmの林道です。オヤジは快調に飛ばして行きます。そして県境の峠まであと3kmの所で、まさかオヤジ大転倒！

バイクは跳ね飛ばされ何だか分らず、気づけば右手が痛い、そして右足も痛い！何と右足は倒れたバイクに挟まっていた。慌てて引き抜こうもまったく抜けない、「これはヤバイパターンだ、人が来るまでこのままか」と頭をよぎったのですが、この山中誰も来るはずがない。それでももがいていると足は動いたので、痛い右手でブーツのフックを数カ所外すと、足がブーツから抜けました。やっと立ち上がり痛い右手を見ると中指の爪が黒くなっている。どうやら転倒時ブレーキレバーに挟まれたようでした。また出血もしてきました。そのブレーキレバーは根元から折れていました。バイクは谷側に倒れており、ガソリンも漏れてきていたのですが、重くて起こせない。それでも荷物を降ろすと軽くなったので、痛い手を使いながらやっとバイクを起こしました。が、今度はスマホが無い。見つけると藪の中に落ちていました。幸い壊れてはいなかったのですが、ここは山の中、電波は圏外で連絡も取れません。それでもとにかくキャンプ場までは行こうと、バイクのエンジンを掛けようとしたのですが、全く反応しません。オヤジはここで諦めて山の中で一泊することにしました。ちょうど近くに平な場所があったので、そこにテントを張りました。その後着替えたのですが、パンツは膝が裂け、付けていたプロテクターは傷になっていました。このプロテクターがなければ膝も怪我をしていたところでした。そして食事を作る為に水が必要なので、近くの川に水を汲みに行きました。が、川は林道から20m下にあり、そこまで降りるのはとても無理なため、諦めて戻ってきました。今夜の食事は持ってきた小さい桃缶一つだけでした。その空缶もテントから離れた所に置いておきます。春は熊の出没も多いので食物の匂いに寄って来ない様注意のためです。夜になると気温も下がって来ました。今回寝袋もマイナス1℃まで対応の物に買い替えたのですが、やはり山の中は寒い、そして外は真っ暗闇であり灯りが無ければ何も見えません。聞こえるのは川の音だけでした。スマホは全く使用出来ませんが、持って行った小さな携帯ラジオは聞けました。ただニュースでクマに襲われた事件が流れていたのは少々ビビりました。またどうして転倒したのかずっと考えていました。やがて寒さにも耐え無事朝を迎えました。まだ指は痛いですが骨は大丈夫そうでした。また心配していたエンジンも無事掛かり、何とか里まで下りて来ました。ここでやっと家に連絡、事情を話し、この先ツーリングは無理なので、高速にて5時間以上かけて無事家に戻ってきました。その後、今では家族に「バイクはやめろ！」と言われていますが、懲りないオヤジライダーは逆に増々気持ちが燃えています。ただ今はまだ怒られるのでバイクの話はせず静か~にしております。

